

## CoCoDe からのお知らせ

### ～早期予約申請を認める際の判断基準について～

旭川市市民活動交流センターでは管理運営要綱別表にて、使用目的が「全国的、全道的規模の行事のために使用する」と、「広く市民の参加を求める行事のために使用する」とは、申請があれば市民活動団体等においては使用しようとする日の1年前から、一般において10か月前から、予約可能としております。この規程はこれらの使用が一般的に規模が大きく、早期に予約しなければ会場の確保が困難であるために設けられた制度です。しかし一方では上記以外の目的で会場をご利用になりたい方にご不便をおかけする制度にもなっております。その為、かねてより誰もが等しく明確に判断できる基準の策定を検討してまいりました。この度、以下のように決定いたしましたので、ご報告いたします。

1. 下記①から③のいずれかに該当する場合に「全国的、全道的規模の行事のために使用する」、「広く市民の参加を求める行事のために使用する」とであると判断する。
  - ①ホールを8時間以上連続して利用する場合
  - ②会議・研修室1、2をまとめて1日8時間以上連続してかつ3日以上利用する場合
  - ③交流展示コーナー全てを1日8時間以上連続してかつ3日以上利用する場合
2. ①から③に該当しない場合で、指定管理者が早期予約申請を承認することが望ましいと判断した場合については、市と協議することとする。

## インフォメーション

### 「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」 令和3年度実施事業の提案募集

旭川市と協働して、地域の課題解決や活性化を図りませんか。

#### 【募集する事業は？】

- 提案する団体が市内において実施する公益的な事業
- 具体的な成果や市民サービスの向上が期待できる事業
- 市との協働によって相乗効果が得られる事業  
※事業のテーマ、分野は自由です。

#### 【対象団体】

- 旭川市内で市民活動を行っている
- 市と協働して事業を遂行できる実績または能力がある
- 団体の運営に関する規約等がある
- 予算・決算等の事務が適正に行われている（または見込みがある）※法人格の有無や組織の規模は不問です。

#### 【応募方法】

必要書類（HP参照）を作成の上、事前相談（必須）をしてください。

- 受付期間：令和2年9月30日（水）まで
- 受付時間：月～金曜日（祝日を除く）8:45～17:15

#### 【担当・連絡先】

旭川市市民生活部市民活動課市民活動係 協働担当  
旭川市6条通9丁目46番地 総合庁舎4階  
TEL：0166-25-6012



旭川市内で行われるイベント  
情報等をお知らせします

### 提供 【中古】厨房機器差し上げます

NPO 団体がお弁当作りなどに使用している業務用厨房機器を差し上げます。10年程度使用しているため、使用に伴う、傷、汚れ、スレ、サビ等ございます。返品等には対応できませんので、あらかじめご了承ください。現在使用中のため、引き渡しは8月以降となりますことをご承ください。

【内容】キタザキ冷蔵庫・食器乾燥機・調理台・リンナイペットミニ焼物器・リンナイガス給湯器 など



【料金】無料 ※配達はいたしません。ご自身でお持ち帰りいただくか、宅配業者の手配をお願い致します。

【お問合せ】旭川市市民活動交流センター CoCoDe  
TEL：0166-74-4151 メール：info@cocode.jp

### NPO 法人の総会開催について

NPO 法人の総会は中止することができませんが、コロナウイルスの感染拡大防止策として、実際に正会員が集まらずに総会を開催する方法があります。

- ①委任状・書面表決での参加を勧める方法
  - ②インターネットを活用して総会に参加できるようにする方法
  - ③全正会員からの「賛成」の意思表示を集める方法
- ①と②は総会の開催を前提としているため、開催日時と会場を設定する必要があります。
- ③は、「みなし総会」とよばれ、総会を集まって開催せずに、書面、メール等で社員（正会員）全員から「賛成」の意思表示があったら、社員総会の議決があったものとみなす規定です。※社員数が少ない法人で、社員の全員から連絡をもらえやすいところにとっては非常に有効な規定です。

感染拡大防止のため、書面表決・委任状での参加を促しつつ総会を開催しましょう。

### 意外と知られていない？ CoCoDe の使い方

#### ロッカーが利用できます

CoCoDeに登録いただいている市民活動団体を対象に、一月単位でロッカーを貸し出しています。書類や備品などを置いておくことができます。



ロッカー室は市民活動支援棟2階にあります。開館時間中は自由にご利用いただけます。

一月	200円	中(3段) W41.5×D49×H53 : 30台
一月	300円	大(2段) W41.5×D49×H81 : 20台

ご不明な点がございましたらお気軽にお問合せください。

## ホットなあひびと

子どもセンタービ・リーヴ理事長の佐藤 洋美さんにお話を伺いました。

### ①子どもセンタービ・リーヴはどのような活動をされていますか？

ビ・リーヴは、主に青少年の支援を行っています。緊急的な避難場所としてのシェルターと、虐待などで保護者と暮らせない子どもたち（中学卒業後から概ね20歳くらい）の生活の場所としての自立援助ホームを運営しています。

### ②活動を始めたきっかけは何でしょうか？

社会の中で行き場をなくした子どもたちがいることを知り、子どもたちが再び自分らしく生きていけるような小さなチャンスやきっかけを作ることはできないかなという思いを持った人たちと出会い、活動が始まりました。

### ③活動をするうえで、課題とか困難はありますか？

子どもたちは、小さいころから十分な配慮やケアを受けていないため、不信感が強く、気持ちのコントロールも下手です。どのようにかかわっていくか毎日奮闘しています。



自立援助ホームには国から措置費がでますが、24時間体制でスタッフを配置すると、措置費だけでは賅いきれません。子どもたちに安心、安全な場を提供するためにいろいろなものが足りない状態です。

### ④活動をやっていてよかったことはありますか？

私たちの活動のことを知って、声をかけてくれたり気にかけてくれたりする方々との出会いですね。人の結びつきが大切だとつくづく感じさせられます。

### ⑤読者の方にお伝えしたいメッセージは？

一見何でもなく、気楽に生きているように見える若者たちも、これまでの苦しい体験からぽっかりとした心の空洞や生きづらさを抱えています。そのようなことをちょっとでも想像して、温かく見守ってもらいたいです。家庭だけでなく、社会の皆さんで、子どもたちを支え、育てていけるようになったらうれしいです。

